北海道新型コロナウイルス感染症対策本部
第１０２回本部会議　記録

日　時／令和４年３月１８日（金）
１８：００～１８：２１
場　所／本庁舎３階　テレビ会議室

【副本部長（小玉副知事）】
これより、北海道新型コロナウイルス感染症対策本部の第102回本部会議を開催します。
まず、国の基本的対処方針の変更及び道内の感染状況等について、新型コロナウイルス感染症対策監から説明願います。

【原田新型コロナウイルス感染症対策監】
それでは、資料１をご覧ください。昨日開催されました政府対策本部におきまして、基本的対処方針の一部が改正されたことから、そのポイントをご説明いたします。
まず、重点措置の終了です。本道を含みます18都道府県に適用されてございましたまん延防止等重点措置ですけれども、３月21日をもって、終了するとされております。
その他の主な変更点でございます。まず一つ、イベントの関係ですけれども、緊急事態宣言、重点措置区域以外の都道府県においては、イベント等の前後の活動におけます基本的な感染対策の徹底や直行直帰の呼びかけなどを行うこと。また、外出・移動の関係では、移動先での感染リスクの高い行動を控えるよう促すこと。また、感染防止に向けた取組といたしまして、学校や保育所等について、感染者が発生した場合の早期の幅広い検査の実施、発熱等の症状がある職員の休暇取得の徹底、職員に対します早期のワクチンの３回目接種等を実施することや、また、保育所等ですけれども、発熱等の症状がある児童の登園自粛を徹底することといった内容が追記されてございます。
資料１の説明は以上です。引き続き、道内の感染状況等についてですけれども、主な指標について、昨日時点で新規感染者数は、引き続き、今週先週比が１を下回っておりまして、10万人当たりでみますと、札幌市260.7人、札幌市を除く地域が173.5人、全道206.2人と先週比で減少し、療養者数についても同様に減少しております。病床使用率ですけれども、札幌市30.7%、札幌市を除く地域が20.3%、全道23.4%と、先週に比べて減少しております。
また、地域毎の状況です。新規感染者について、一部圏域で増加しているところもございますけれども、多くの圏域において、減少しているという状況です。病床使用率についても減少しておりまして、特に札幌市、道南圏、十勝圏で減少幅が大きくなっております。
続いて、総評です。医療提供体制です。療養者数及び病床使用率は、減少傾向が続き、それぞれ、ピーク時の619.9人から330.3人、ピーク時の40.1%から23.4%と大きく減少しております。医療機関等での集団感染事例も減少しています。
感染状況です。新規感染者数は、減少傾向が続き、ピーク時の467.8人から206.2人と大きく減少しております。全道各地で感染確認は続いておりますものの、2,000人を超えていた１日平均の新規感染者数ですが、約1,500人となっています。年代別にみますと、現在、
10代以下が40.4%、20代・30代が27.8%と、30代以下が全体の７割近くを占めているという状況になっています。
今後の対策です。新規感染者数及び病床使用率の減少傾向が継続する中、３月21日をもって、本道を対象としたまん延防止等重点措置を終了することが決定されております。し

かしながら、依然、１日1,000人を超える新規感染者が確認され、特に若い世代の割合が高くなっている中、今後、就職や卒業・進学等に伴う人の移動や会食機会の増加など、感染リスクの高まる時期を迎えることとなります。今後の再拡大を防止することが重要でございまして、３月22日以降においても、年度末から年度始めにかけて、ＢＡ．２系統を含め、オミクロン株の感染力の強さを念頭におきながら、感染リスクの高まる場面や感染が広がっている場所における感染防止行動の徹底を図ってまいります。また、ワクチンの３回目接種の一層の促進や医療提供体制の充実を図りながら、感染対策の徹底を前提として需要喚起策を再開するなど、感染防止対策と社会経済活動の回復の両立に向けた取組を進めてまいります。

次に、スライド４以降で何点か補足してご説明いたしますと、年代別の新規感染者数の関係です。先週に比べまして、30代以下の減少幅はわずかとなっておりますけれども、一方で、60代以上の減少割合が大きいというのが見て取れます。年代別の割合を詳細に見ますと、足下では10代以下の部分で、わかりにくいですけれども、占める割合が増加傾向になっておりまして、現在約４割となっておりまして、30代以下を合わせますと全体の約７割というふうになっている状況でございます。

続いて、ワクチン接種の関係ですが、３月17日現在の３回目接種者数ですけれども、ＶＲＳベースで約166万人、全人口に対する接種率は31.9％となっています。このうち、65歳以上の高齢者の方ですけれども、 約115万人、接種率は69.1％と、ほぼ７割の方が接種を終えているという状況になっています。

続いて、道直営の集団接種会場、北海道ワクチン接種センターですけれども、高齢者等への追加接種の一層の加速化のため、４月以降も運営することといたしました。接種会場ですけれども、現在と同様、ホテルエミシア札幌で、対象者や使用するワクチンについても、現在から変更はございません。設置期間ですけれども、４月９日から５月29日までのうち、５月３日を除きます土日祝日、計19日間とし、１日約420人、計8,000回程度の接種を予定しております。４月１日(金)の10時から予約受付を開始する予定としておりますけれども、今後、あらためて道のホームページ等でお知らせしてまいりたいと考えてございます。

スライドの三つ目の○で、高齢者施設等におけます３回目接種についてでございますけれども、住民接種で対応する施設等を除きました道内の対象施設全2,709施設のうち、２月末までに81％、３月15日までに89％、３月末までには道内の全ての施設で希望する入所者等への接種が完了する予定となってございます。道といたしましても、引き続き高齢者への皆様方への接種の加速化に取り組んでまいります。

その他のスライドでございますけれども、本日の説明に関連しますデータを載せておりますので、のちほどご覧いただければと思います。

私からの説明は以上です。

【副本部長（小玉副知事）】

次に、札幌市の感染状況について、オブザーバー出席いただいております札幌市保健所の山口感染症担当部長から、説明をお願いします。

【山口札幌市感染症担当部長】

札幌市の感染状況について、資料３に基づいてご説明いたします。それでは、最初のスライドをご覧ください。新規感染者の１週間の合計につきましては、昨日３月17日時点で5,113人、人口10万人当たりだと260.7人と、減少傾向が続いておりますが、直近では下げ止まり傾向も見られているところでございます。

それでは次のスライドをご覧ください。入院患者数でございますけれども、黄色い棒グラフですが、昨日時点で178人と減少が見られております。また、重症患者数の赤の折れ線グラフでございますが、昨日時点で２人と低い水準となっております。

それでは、最後のスライドをご覧ください。検査件数でございますが、直近の１週間で14,718件、実施をしているところでございます。陽性率は34.7％と３割を超えた状態が続いております。

新規感染者は減少傾向にあり、高齢者の感染者数も減少が見られておりますが、感染状況は高い水準で推移をしてございます。年度末から新年度にかけましては特に人の動きが活発になりますことから、まん延防止等重点措置解除後も引き続き、基本的な感染対策の徹底やワクチン接種の促進といった取組が必要と考えております。

以上です。

【副本部長（小玉副知事）】

次に、年度末・年度始めにおける再拡大防止対策について、総合政策部長から説明願います。

【濱坂総合政策部長】

資料４、再拡大防止対策(案)の概要をご覧いただきたいと思います。年度末から年度始めにかけて、就職や卒業、進学等に伴う人の移動や会食機会の増加など、感染リスクが高まる時期を迎えますことから、感染力の強いオミクロン株の特徴を念頭におき、全道域において、３月22日から４月17日までの間、感染防止対策の徹底を図ってまいります。

１つ目、行動変容の要請につきましては、日常生活において、三つの密の回避などの基本的な感染防止対策を徹底し、特に不織布マスクを推奨いたします。外出、移動の際には、混雑している場所などは、できる限り避けて行動し、春休みの旅行など、他の都府県への移動の際には、対策を徹底すること。それから、歓送迎会も多くなるシーズンとなりますことから、飲食の場面では、認証店などを利用し、会話の時のマスク着用など、大人数の会食の際は、一層徹底することなどについて、要請をいたします。

スライド２をお願いします、事業者の皆様へは、入社、人事異動、転勤などによる人の入れ替わりが多くなることを踏まえ、感染防止のための取組の徹底をお願いいたします。飲食店等では、感染防止対策チェックリスト項目を遵守し、特に会話する時のマスク着用徹底を呼びかけます。

保育所や高齢者施設等、感染が広がっている場所では、職員の体調管理を徹底し、希望する職員のワクチン３回目接種等が進むよう配慮すること。保育所等では、卒園式や入園式の行事などでの基本的対策を徹底し、高齢者施設では、レクリエーション時のマスクの着用などの徹底をお願いいたします。

学校では、卒業式や入学式などの行事をはじめ、学校教育活動等における感染防止対策を徹底するほか、春季休業期間等を活用して、希望する教職員のワクチン３回目接種等が進むよう配慮することなどを要請をいたします。

イベントの開催につきましては、感染防止安全計画を策定した場合は、人数上限は収容定員まで、収容率は100％以内といたします。これらの内容の詳細につきまして、後ほど資料５をご覧いただきたいと思います。

次にお手元にお配りをしております資料６をご覧いただきたいと思います。再拡大防止対策につきましては、有識者の皆様などにご確認をいただいたところでございます。

有識者、専門家の皆様からは、概ね妥当であるというご意見をいただいておりますが、（１－①）年度替わりにおける人の移動や会食機会の拡大等により感染リスクが高まるこ

とが懸念され、基本的な感染防止対策の徹底を図ることが必要である。（１－④）特に若年世代の新規感染を抑制するよう、検査体制の充実や感染防止行動の徹底が必要。（１－⑦）引き続き慎重な感染対策を個々に継続することが必要。

続きまして、２頁をお願いいたします。市町村、関係団体の皆様からも、概ね妥当であるというご意見でございましたが、（２－①）これからの時期は、就職、進学、転勤などの人の移動が活発になることから、感染拡大防止に向けた周知啓発を強化してほしい。（２－③）年代別の感染者数でみると、30代以下が約７割、60代以上が約１割と、両者で８割を占めることから、これらの年代層に強くアピールできるよう、対策の周知方法等を工夫してほしいといったご意見をいただいたところでございます。

以上でございます。

【副本部長（小玉副知事）】

ただいま説明のありました、年度末・年度始めにおける再拡大防止対策について、決定したいと考えておりますが、よろしいでしょうか。それでは、そのように決定します。

次に、各部・振興局等から、順次、発言をお願いします。

まず、観光振興監から、お願いします。

【山﨑観光振興監】

お手元の資料７をご覧ください。どうみん割の再開について報告いたします。実施期間は３月22日から予約販売を開始し、同じく22日のチェックインから４月29日のチェックアウトまで、利用可能とします。対象地域は、全道域で対象者は道民の皆様となります。感染防止対策はこれまでと同様であり、基本的な対策を徹底していただくとともに、ワクチンの２回接種、または検査の陰性結果が利用条件となります。感染症が拡大した場合の停止条件も従来のとおりとなります。

最後にその他のところでございますが、４月１日以降は、ワーケーションも補助の対象といたします。また、地域ブロックの拡大につきましては、官公庁で詳細を検討中でありまして、詳細がわかり次第、速やかに関係する県と調整を進めてまいります。

以上でございます。

【副本部長（小玉副知事）】

次に、交通政策局長、お願いします。

【髙見交通政策局長】

お手元の資料８によりご説明いたします。現在新規の販売を休止しておりますぐるっと北海道につきましても、感染対策の徹底を前提といたしまして、解除後の３月22日から販売を再開することとしております。なお、ぐるっと北海道の割引乗車券等は、各事業者ごとに販売されておりますので、各交通事業者の準備が整い次第、順次販売となります。実施に当たっては、交通事業者に感染対策の再徹底を求めるとともに、道が道民の皆様にお願いしている感染対策などの働きかけを依頼することとしております。また、感染が拡大した場合の対応等につきましても、これまでと同様、適切に対応してまいりたいと考えております。

以上でございます。

【副本部長（小玉副知事）】

次に、経済部長、お願いします。

【山岡経済部長】
資料９になります。Go To Eat事業ですが、現在、テイクアウト・デリバリーに限定しておりますが、有識者や市町村のご意見を踏まえ、感染防止対策を徹底した上で、食事券の店内利用を３月22日から再開いたします。２の実施内容にありますとおり、道民の皆様には引き続き、マスク着用などをお願いすることとし、飲食店の皆様には感染防止対策チェックリストの項目の順守やお客様への会話の際のマスク着用の徹底の呼びかけをお願いするなど、基本的な対策の徹底を図ります。食事券の販売期限は４月10日まで、利用期限は５月10日までになります。
次に、資料10を併せてご覧ください。有識者の皆様から寄せられた道の需要喚起３事業に対する意見をご紹介しますと、２ポツ目にありますとおり取組を進めることに賛成。３ポツ目も最後の行にあるとおり、速やかな開始を歓迎したい。４ポツ目ですが、感染再拡大を避けるためにも慎重に拡大をしていくべき。これにつきましては、感染防止対策を徹底した上で再開をすることで対応したいと考えております。
以上でございます。

【副本部長（小玉副知事）】
この他、各部、振興局等からご発言はございませんか。なければ、本部長からお話しをお願いいたします。

【本部長（知事）】
政府対策本部において、３月21日をもって、まん延防止等重点措置が終了するということが決定をいたしました。感染力の強いオミクロン株の影響などにより、全国的に経験したことのない感染拡大が進む中、本道でも、新規感染者数が１日4,000人を超える日もあるなど、大変厳しい状況に直面をいたしましたが、新規感染者数や病床使用率はピーク時から大きく減少をいたしました。これまでの、道民の皆様、事業者の方々、そして、医療従事者や市町村、関係団体の皆様など、多くの皆様のご理解とご協力に対しまして、心から感謝を申し上げます。
しかしながら、重点措置の終了によって感染症との闘い、これが終わるわけではありません。依然、新規感染者数は１日1,000人を超え、特に10代をはじめ若い世代の感染確認が続いています。さらに、これからの人の移動や会食の機会の増加など、感染リスクの高まる時期も迎えることになります。今後の再拡大を抑えていくことが大変重要になります。３月22日から４月17日まで、年度末、年度始めの１ヶ月間、感染リスクの高まる場面や感染が広がっている場所における感染防止対策の徹底を図っていきます。
道民の皆様におかれましては、オミクロン株の感染力の強さを念頭におき、基本的な感染防止対策の徹底をお願いをいたします。特にこれから歓送迎会シーズンを迎えることから、会話の時マスク着用するなど、あらためて徹底をお願いをいたします。大人数や普段会わない方との飲食は、さらにリスクが高まることから、より一層の徹底をお願いをいたします。
事業者の皆様におかれましては、人事異動、転勤などによる人の入れ替わりを踏まえた感染防止のための取組、こちらをお願いをいたします。飲食店等の皆様におかれましては、これまで取り組んでいただいております感染防止対策、あらためて徹底をいただき、利用客の皆様に対して、マスク着用の呼びかけについて、お願いをいたします。
感染者が多く確認をされております高齢者施設や学校などでは、職員の体調管理の徹底をはじめ、基本的対策をあらためてご確認をいただくとともに、春休み期間となるこの機

会を活用して、学校、幼稚園などにおける職員のワクチンの追加接種、こちらにも配慮をお願いをいたします。

各本部員におかれては、市町村、関係団体の皆様のご協力をいただきながら、人の入れ替わり、人の集まる行事、大人数の飲食といったそれぞれのリスクの高まる場面に着目をして注意喚起を行うなど、効果的に取り組んでいただくよう、お願いをいたします。

また、ワクチンの接種についてでありますが、３月末までとしておりました道の集団接種会場、こちらについては４月以降も運営することといたします。４月９日から土日祝日に開設をいたします。市町村とともに、３回目接種の一層の促進に向けて、取組を進めるようお願いいたします。

感染防止対策と社会経済活動の回復との両立に向けた取組を進めていきます。どうみん割、ぐるっと北海道、Go To Eatといった需要喚起策について、感染対策をしっかりと講じた上で、３月22日から再開をいたします。感染対策の徹底、事業者、利用者の皆様に対する周知など、迅速に取り組んでいただくようお願いいたします。

私からは以上です。

【副本部長（小玉副知事）】

本部長から指示のあったことにつきまして、各本部員は必要な対応をお願いします。

以上をもって、新型コロナウイルス感染症対策本部の第102回本部会議を終了いたします。

（了）